
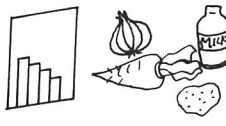



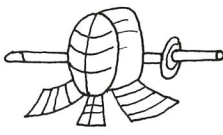

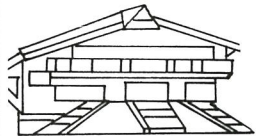

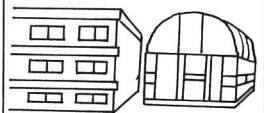



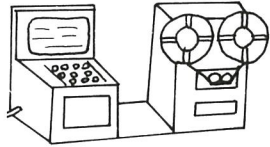




昭和57年度9月末町債  
現在高1,037,309,千円

(単位：千円)

<b>医師住宅</b>  1,552	<b>給食センター</b>  89,688	<b>道路</b>  113,960
<b>食肉センター</b>  123,103	<b>農村協同館</b>  3,369	<b>庁舎公民館</b>  133,036
<b>武道館</b>  1,893	<b>公営住宅</b>  13,219	<b>体育館</b>  107,607
<b>防災無線</b> 444  <b>財政対策債</b> 16,706	<b>災害</b>  622	<b>学校施設</b>  432,110

昭和57年度予定

一部事務組合に対する負担金

<b>組合立東陽病院</b>  69,371千円	<b>東総地区広域市町村圏事務組合</b>  12,450千円
<b>八日市場市他三町消防組合</b>  65,500千円	<b>八匝水道企業団</b>  84,567千円
<b>八日市場市他三町環境衛生組合</b>  35,987千円	<b>東総衛生組合</b>  7,989千円
<b>合計 275,864千円</b>	

10月1日から水道料金が変りました。

国庫補助かく得のため  
水道料金改定!



十月一日から、水道料金が変わりました。

これは、市町が水道使用者の負担を軽くするために、水道料金の一部を補助していますが、これに対して、国庫から、市町が補助した額の70%余りが援助されます。この制度は「高料金対策制度」といいますが、この制度の適用を受けるには次の基

- (1) 1㎡当りの家庭用料金が130円以上であること。
- (2) 有収水量1㎡当りの給水原価が150円以上であること。
- (3) 有収水量1㎡当りの資本費が75円以上であること。

この基準は毎年引き上げられています。八匝水道は、五十六年度中は三項目を上回っていましたが、五十七年度はとうとう(1)をクリアできませんでした。

この制度の適用を受ける、受けないでは大きな差があります。適用を受けると市町が3割程度の負担で10割の効果が得られるわけです。

五十二年七月給水開始以来変